

2023

コースガイド

日本画コース

2023/05/02 p.18-20 履修モデルを一部修正



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

ものを見るという事。本当に見るという事。
全てはそこから始まります。

足元の草、石ころ、風に揺れる木々の梢、不意に飛び去る野鳥たち。
大空、光、水に映る雲の影、遠くから聞こえるささやき声…。
日常、あらゆるものは私たちに何かを示唆し、呼びかけてくれています。
けれど私たちは本当に耳を澄ましているのでしょうか。
私たちの眼は、本当にすべてを深く見つめているのでしょうか。

絵を描こうと思う時、私たちは初めて本当にものを見ようとします。
そして見れば見るほど、今まで何も見ていなかったことに気付くのです。
自然はどこまで奥深く、謎を秘めていることでしょうか。
私たちはいったいどこからきて、どこへ行こうとしているのでしょうか。
いのちの源へと遡る根本的な問いは、常に「本当に見ること」から始まります。

遠く人類の黎明から、人間はものを表現しようとしてきました。
「描く」という事を始めた頃に使った道具を、今日本画を描いている私たちも同じように使っています。
石や砂、動植物由来の染料、炭、膠、動物の毛で作った筆…。
人間は、それらを使って祈りとともに絵を描き始めました。

今、時代を隔てても、私たちはいずれどこかに去ってゆく存在であること
に変わりはありません。そしてだからこそ、やはり絵に、いのちと祈りを
込めることができます。「描く」という事は、本来そのような行為なの
だと思います。

時を、思いを、対象を、そして目の前の道具たちをも愛おしんで、心の眼
でものを見つめ、一筆一筆、魂を込めて描いていきましょう。
それぞれの歩幅で、真摯に、謙虚に。そして心から楽しんで。
これは一生続く学びです。
人と比べる必要のない、内側からの学びです。
そして、どんな人とも手を携え、理解しあえる道のりです。
ともに一歩ずつ歩いていきましょう。

目次

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるにあたって……………	2
・学習支援について……………	6
2. [在学生のみなさんへ]2023年度からの変更事項と注意点……………	7
3. 学習を進めるにあたって……………	8
4. 専門教育科目一覧……………	9
5. 卒業制作着手要件・卒業要件……………	10
6. カリキュラムマップ……………	12
7. 履修条件図……………	13
8. スクーリング日程一覧……………	14
9. 履修モデル……………	18
10. 専門演習テキスト科目(TW・TX)……………	21
11. 専門演習スクーリング科目(S)……………	22
12. テキスト購入……………	24

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。

入学許可後は、airU学習ガイドやシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるにあたって

1. 新入生ガイダンスやガイダンス動画を活用しよう

「新入生ガイダンス」（4月は京都・東京で開催、5月はオンライン開催。）に参加し、履修計画の立て方や履修方法などについて理解を進めましょう。

2. 「履修モデル」を参考に履修計画をたてよう

お手元の「入学許可証・卒業要件通知」で卒業要件を確認しましょう。次に何年かけて卒業するかを考えてみましょう。それにより、1年間で修得する単位数が自ずと決まってきます。

卒業する為には、コース専門教育科目だけではなく、学部共通専門教育科目等の履修が必要です。

「履修モデル」（▶pp.18～20参照）は、最短の年数で卒業されると仮定した場合の年間学習モデルを紹介しています。入学年次や資格取得の有無、学びのペースによって履修内容は異なりますので、各自該当する履修モデルをもとに履修計画を立ててください。学習用Webサイト「airUマイページ」（▶pp.3～5参照）でシラバスの閲覧、履修プランの作成ができます。計画に狂いが生じた場合は随時計画を見直しましょう。

3. スクーリングを申し込もう

スクーリングは申し込みが必要です。まずは1年次科目を申し込みましょう。入学年度は5月以降に開講されるスクーリングから受講可能です。「airU学習ガイド>スクーリング申込スケジュール」（※検索方法は最下部を参照）を確認のうえ、「airUマイページ」にて、「スクーリングを申し込む」をクリックし、申込手続きを行いましょう。

4. テキストを購入しよう

学習を始めるにあたり、以下のテキストを各自購入してください。（▶p.24参照）

『日本画 基礎から学ぶ日本画（はじめて学ぶ芸術の教科書）』

『日本画 日本画の制作を学ぶ（はじめて学ぶ芸術の教科書）』

『日本画1 白い紙の上に 日本画制作への向かい方とヒント（はじめて学ぶ芸術の教科書）』

『日本画2 描くことの源泉へ 発想の源を遡る（はじめて学ぶ芸術の教科書）』

発行：京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎

5. 卒業へ向けて「卒業制作着手要件」のクリアを目指そう

卒業制作に着手するためには、卒業制作に着手する前年度までに「卒業制作着手要件」（▶p.10参照）を満たしていることが必要となります。学修上、分からないことがあれば学習支援（▶p.6参照）を利用しましょう。

最短での卒業を目指される場合は、少なくとも以下の条件を満たしておく必要があります。

1年次入学生の場合 ：2025年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

3年次編入学生の場合 ：2023年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

卒業制作履修のためには、着手要件のみではなく、着手の前年度までに卒業制作のための写生などの準備が必要です。構想段階でも、学習相談会などを活用してください。

6. 3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）の皆さんへ

1年次配当科目から履修を始めますが、入学初年度から、3年次配当科目までの履修が可能です。ただし科目によっては履修の前提条件がある場合がありますし、ステップアップで学んでいただくのが一番効率的であることを踏まえ、綿密に計画を立ててください。事情が許すならば2年間という期間にとらわれず、できるだけ時間をかけて、じっくりと一つ一つのステップを習得していただくのが理想的です。

※airU学習ガイドで「スクーリング申込スケジュール」を閲覧したい場合、airU学習ガイドトップページの左上にある「検索キーワードを入力」に「スクーリング申込スケジュール」を入力し、Enterキーを押してください。

「airU（エアー・ユー）マイページ」の使い方

airUマイページは本学通信教育部独自の学習用Webサイトです。学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えています。シラバス等の閲覧はもちろん、成績の確認も行えます。通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。（airUマイページでできることの詳細は「airU学習ガイド＞airUマイページの基本機能参照）

問題なくairUを利用するには、システムの要件を満たしている必要があります。（▶airUシステム要件の詳細は「airU学習ガイド＞airUシステム要件」参照）

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

QRコード：airUマイページ

airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

検索 airU 京都芸術大学 ログイン



airU マイページを使ってみよう

airU マイページにログインすると、以下のような画面が表示されます。各種パネルの使い方については、「airU 学習ガイド」の「1. まずはじめに」をあわせて確認しましょう。ここでは、日本画コースでよく使うであろう機能をご紹介します。

カリキュラム一覧（シラバス）
各科目の『シラバス』（科目概要や評価基準、課題の内容など）を確認することができます。

コンシェルジュ
不明点などはここから問合せ。

airU 学習ガイド
airU マイページで学習するうえで必要な情報が掲載されています。

お知らせ
事務局や日本画研究室からのお知らせが確認できます。まめに確認しましょう。

教材 BOX
日本画コースでの各科目共通の資料や入学ガイダンス資料を確認できます。

シラバス、動画教材や参考作品を閲覧してみよう



日本画コースでは、コース専門教育科目の学習をサポートするべく動画教材や参考作品を充実させています。これらは、airU マイページ内にある シラバスから閲覧可能ですので、必ずアクセスして活用してください。

①「カリキュラム一覧（シラバス）」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から、確認したい科目をクリックして選択してください。シラバスが閲覧できます。

コース専門教育科目
日本画コースのテキスト科目、スクーリング科目を確認することができます。

区分	科目名	単位数	開講期	状況
TW	日本画演習Ⅰ-1	2	通年	未履修
TW	日本画演習Ⅰ-2	2	通年	未履修
S	日本画Ⅰ-1 初級写生	1	通年	単位取得済

②カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から確認したい科目をクリックすると、以下のような画面が表示されます。

ここではテキスト科目「日本画演習Ⅰ-1」をクリックしてみました。

画面の上部には、その科目の内容が左から項目ごとに学習の流れに沿って表示されていますので、すべてをよく確認しながら課題に取り組んでください。テキスト科目の動画教材や参考作品を閲覧したい場合は、その中にある「テキスト・教材学習」をクリックしてください。

※スクーリング科目の場合は、「事前課題」をクリックしてください。表示される画面の基本的な構造は同じですが、スクーリング科目の動画教材や参考作品は「事前課題」から確認できます。



テキスト・教材学習

動画教材や参考作品を確認することができます。
テキスト科目には作品第1課題と作品第2課題があるので、各課題ごとに確認してください。

③「テキスト・教材学習」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。画面の上部に「1」、「2」…と表示される場合には、複数ページに分けられて課題の動画教材や参考作品が収められていますので、すべてをよく確認して課題に取り組んでください。画面下にスクロールしていくと、動画教材や参考作品が一覧になって表示されます。閲覧したいものを一つずつクリックしてください。

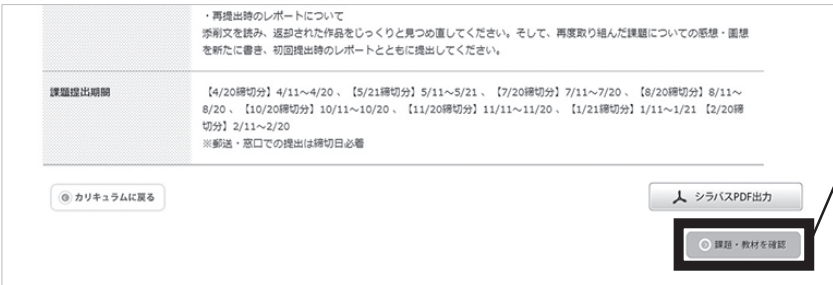


複数ページに分けられて動画教材や参考作品が収められている場合があります。「1」から順にクリックし、選択してください。

左右の「<」「>」をクリックするとバーが移動します。

一つずつクリックして閲覧してください。

④配当年次に達していない科目、および受講許可がでないスクーリング科目の場合は公開されません。ただし、科目により一部の動画教材や参考作品は、画面右下の「課題・教材を確認」をクリックすると閲覧可能になる場合があります。



課題・教材を確認

資料を確認したいが画面に表示されないという場合には、このオレンジ色のアイコンをクリックしてみてください。

教材BOXを使ってみよう



画材についての資料や画材申込書など、各科目に共通の資料は airU マイページ内にある「教材 BOX」に収められています。その中の「補助教材」から閲覧したいものをクリックし、ダウンロードしてください。新入生ガイダンス資料も閲覧できます。



補助教材

クリックすると、日本画コースでの各科目共通の資料や入学ガイダンス資料が表示されます。



一つずつクリックして閲覧してください。ダウンロードできる資料は大切に保存しておきましょう。いつでもすぐに確認ができます。

「airU (エアー・ユー) コミュニティ」の使い方

airU コミュニティは本学通信教育部独自のソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) です。この SNS はスマートフォン等のアプリ (iOS および android / ダウンロード無料) および Web ブラウザでご利用いただけます。

ご自身の展覧会告知を掲載したり、学生同士でコミュニティを立ち上げ交流したりすることができます。在学中だけでなくご卒業後も利用でき、みなさんと大学がつながり続けていくことのできるサービスです。

まずは、右 QR コードを読み取ってアプリをダウンロードしてみましょう。

Android

iOS (Apple)



QR コード

airU コミュニティを使ってみよう

ダウンロードしたアプリを開くまたは Web ブラウザにアクセスすると、最初にログイン画面が表示されます。利用マニュアルに記載されている注意事項を確認し、ログインしてみましょう。



◀ログイン画面

ログイン ID・パスワード

airU マイページで使用しているログイン ID とパスワードでログインできます。

airU コミュニティにログインすると、以下のようなホーム画面が表示されます。各機能について詳しくは、利用マニュアルやアプリおよび WEB サイト内の「ご利用方法・ヘルプ」をご確認ください。色々な機能を試してみましょう。



メニュー

このアイコンを押すと「メニュー」が表示されます。



「ご利用方法・ヘルプ」では各機能の詳しい利用方法を確認できます。



◀ホーム画面

タイムライン

新しい投稿が表示されていきます。

「ホームボタン」

：ホーム画面に戻れます。

「メッセージ」

：他ユーザーとメッセージのやりとりができます。

「みんなのアトリエ」

：他ユーザーの投稿を確認できます。

「コミュニティ」

：コミュニティに参加したり、新しく立ち上げることができます。

「マイページ」

：ご自身の投稿やお気に入り★を確認できます。

学習支援について

日本画コースでは、様々な学習支援を用意しています。積極的に活用してください。

- ・ 学習に関する質問（▶「airU学習ガイド＞9. 学習支援」参照）

自宅学習で困ったことや迷うことがありましたら、コンシェルジュ・メール等で質問が可能です。学習上で分からないことがありましたら、まずはコンシェルジュ・メール等で質問してください。

- ・ 学習相談会

日本画コース主催で、テキスト科目に関する相談会や、テーマを決めた勉強会などを行います。日時指定の個人面談やグループ相談会など様々な形式があります。

下記に年間スケジュールを掲載しています。

airUマイページ＞教材BOX＞補助教材

- ・ airUコミュニティ（▶本書p.5参照）

学生間や学生と教員、在学生と卒業生をつなぐコミュニケーションツールです。アプリをダウンロードして、活用してください。

研究室からの連絡について

- ・ airU「お知らせ」

カリキュラムや授業内容に関する変更など、履修上に関する日本画コースからの大切な連絡は、「airUマイページ＞お知らせ」に掲載します。定期的に確認するようにしてください。学修上に関わるお知らせや変更も、ここから連絡します。

緊急のお知らせは、airUに登録されているアドレス宛に、メールで連絡をすることもありますので、着信できる設定にしてください。

- ・ 『雲母』

年に4回届く冊子です。次年度に向けた変更点など、学習を進める上で重要な情報が掲載されていますので、届いたら必ず読むようにしてください。

2. [在学生のみなさんへ]2023年度からの変更事項と注意点

1. 印刷製本版『学習ガイド』の廃止について

印刷製本されていた学習ガイドは、2023年度より廃止となり、『airU学習ガイド』に完全移行致します。制作および配布は行いません。各種情報は、『airU学習ガイド』をご確認ください。

2. コース専門教育科目（TW・TX科目）における添削指導評価方法について

TW・TX科目の添削指導評価方法について、2023年度より、airUマイページ上で評価と講評を公開いたします。

ただし、今までどおり「テキスト科目添削指導評価書」を添付し提出してください。

添削が終了すると「課題添削結果のお知らせ」がメールで通知されます。

科目のページの「添削結果確認」、もしくは「airU マイページ > メンバー情報 > 成績」より評価および添削結果を確認してください。

3. 美術科（2019年度以前入学）の卒業要件の変更について

学部共通専門教育科目の「造形基礎演習1・2」の改編にともない、2019年度以前入学生の卒業要件のうち、必修指定している「造形基礎演習1・2」が要件から除外されます。

「造形基礎演習1」は「デッサン」に名称変更をして総合教育科目へ移行します。

「造形基礎演習2」は「コラージュ・デッサン」に名称変更をして学部共通専門教育科目のままととなります。学部共通専門教育科目の必修指定科目はなくなりますが、学部共通専門教育科目の修得すべき単位数は変更ではありませんので、未履修の方は他の学部共通専門教育科目で充足するようにしてください。

「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」履修済みの場合、学部共通専門教育科目のままで認定されます。名称変更後の新規開講科目は履修できません。

4. 3年次編入学について

3年次編入学[同分野]の学生は2022年度で年限を迎えましたので、2023年度以降、3年次編入学[同分野]、3年次編入学[異分野]という表現はなくなります。2022年度以前の3年次編入学[異分野]の学生は、3年次編入学としてコースガイドを確認してください。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、airU学習ガイドもあわせて参照してください。

1. 履修形態

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
 本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験／作品課題がある科目	対面／遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面／遠隔授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～22		作品 11～20	作品 11～21		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～22	作品 11～20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 17～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～25				2024年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 12～(開講30 ～5日前)		夏期追加募集 10～(開講30 ～5日前)			秋期追加募集 9～(開講30～ 5日前)			冬期追加募集 9～(開講30～ 5日前)			
GS	藝術学舎科目			夏季申込 6月初旬～			秋季申込 9月初旬～			冬季申込 12月初旬～			2024年度 春季申込 3月初旬～

- ・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間はairU学習ガイドを参照してください。
- ・スクーリング科目における追加募集の締切日につきましては、airUマイページ>スクーリング>「スクーリングを申し込む」>スクーリング一覧より確認してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を充たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることがあります。
 詳細はairU学習ガイド>学習方法>卒業判定>卒業予定者のスケジュールを確認してください。

3. 課題提出方法

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）で受験できます。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページより手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関してはairU学習ガイド>教育課程>単位認定>藝術学舎取得単位の認定を確認してください。

4. 専門教育科目一覧

科目一覧						卒業要件		配当 年次 (注2)	
科目群	科目区分	科目 コード	科目名	サブタイトル	単 位 数	S / T	1年次入学		3年次編入学
							124単位以上 (S科目(WS-S-GS) 30単位以上)		62単位以上 (専門52単位以上)
教育科目 (注1)	学部共通専門	合 計					20単位以上	12単位以上	1年次～
専門教育科目	コース専門演習I科目	61601	日本画演習Ⅰ－1		2	TW	●	●	1年次～
		61602	日本画演習Ⅰ－2		2	TW	●	●	
		61603	日本画演習Ⅱ－1		2	TW	●	●	2年次～
		61604	日本画演習Ⅱ－2		2	TW	●	●	
		61605	日本画演習Ⅲ－1		2	TW	●	●	3年次～
		61606	日本画演習Ⅲ－2		2	TW	●	●	
		61607	日本画演習Ⅳ		4	TX	●	●	4年次
		合 計						16単位	16単位
	コース専門演習S科目	61001	日本画Ⅰ－1	鉛筆写生	1	S	●	●	1年次～
		61002	日本画Ⅰ－2	色鉛筆写生	1	S	●	●	
		61017	日本画Ⅰ－3 (注3)	制作の基本	1	S	●(注3)	●(注3)	
		61003	日本画Ⅱ－1	水干・岩絵具 併用による制作	2	S	●	●	
		61004	日本画Ⅱ－2 ※2018年度まで開講	剥製／ 写生と制作	2	S			
		61018	日本画Ⅱ－3 (注3)	模写制作	1	S	●(注3)	●(注3)	2年次～
		61005	日本画Ⅲ－1	植物写生	1	S	●	●	
		61006	日本画Ⅲ－2	植物制作	2	S	●	●	
		61007	日本画Ⅳ－1	剥製写生	1	S	●	●	
		61008	日本画Ⅳ－2	剥製制作	2	S	●	●	
		61009	日本画Ⅴ－1	人物写生	2	S	「Ⅴ－1～6」から 3科目選択必修 (注4)		3年次～
		61010	日本画Ⅴ－2	人物制作1	2	S			
		61011	日本画Ⅴ－3	人物制作2	2	S			
		61012	日本画Ⅴ－4	風景写生	2	S			
		61013	日本画Ⅴ－5	風景制作1	2	S			
		61014	日本画Ⅴ－6	風景制作2	2	S			4年次
		61091	卒業制作		6	S	●	●	
		合 計						24単位	24単位
その他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択。								
総合計							124単位以上	62単位以上	

TW：テキスト作品科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目

●：必修科目

注1) 2023年度より2019年以前入学生の必修指定科目から「造形基礎演習1・2」がなくなりました。(▶本書p.7参照)

注2) 配当年次：履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に履修の前提条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

注3) 2019年度からの新規科目。2018年度まで開講の「日本画Ⅱ－2 (2単位)」と新旧対応科目。2018年度までに「日本画Ⅱ－2」を単位修得済みの方は履修不可。

注4) 「Ⅴ－1～3 (人物)」または「Ⅴ－4～6 (風景)」のいずれか選択を推奨。
3科目計6単位以上の履修はできませんので計画的に受講してください。

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」（下記【1】）を満たせば、次年度以降、卒業制作に取り組めます。

- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2023年度卒業予定者のスケジュール等は「airU学習ガイド＞卒業予定者のスケジュール」を参照してください。

卒業制作について

- ・卒業制作着手要件を満たせば、卒業年度の春期に、前半の「卒業制作1、2」が受講できます。
- ・「卒業制作（3～6）の履修の前提条件」（下記【2】）を、秋期スクーリング申込の所定の時期（次項【3】）までに満たせば、後半の「卒業制作（3～6）」が受講できます。

卒業制作申込について

「卒業制作」は前半（「卒業制作1～2」）、後半（「卒業制作3～6」）の2回申し込みが必要です。

- ・「卒業制作1、2」…春期申込期間に2つ同時申し込み。
- ・「卒業制作3～6」…秋期申込期間に4つ同時申し込み。

【1】卒業制作着手要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在籍していること（休学期間を除く）
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) [異分野]	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	32単位以上	1年以上在籍していること（休学期間を除く）

【2】「卒業制作（3～6）」の履修の前提条件

入学区分(卒業要件)	科目群	科目
全て	コース専門演習T科目	「日本画演習Ⅲ-1」「日本画演習Ⅲ-2」 単位修得済または単位修得見込
	コース専門演習S科目	「日本画Ⅴ-1～6」から4単位以上、単位修得済または単位修得見込 「卒業制作1、2」履修中

- ・「卒業制作（3～6）の履修の前提条件」のコース専門演習T科目を、卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくと、着手年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早めに履修の前提条件を満たすことをお勧めします。

【3】「卒業制作（3～6）」受講申込時期と履修の前提条件の充足期日

【2】を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作（3～6）」が申込できます。本科目の「追加募集」に定員はありません（遠隔除く）。

スクーリング 開催回	申込期間 (郵送は必着、 webは13:00まで)		テキスト課題の期日	スクーリングの期日	
			日本画演習Ⅲ-1 日本画演習Ⅲ-2	日本画Ⅴ-1～6から 4単位以上	卒業制作 1、2
秋期 (10～12月開講)	先行 募集	8/17～8/25 【必着】	7月度(7/20【必着】)までに提出し、単位 修得済または単位修得見込にすること	7月末までに単位修得済 または単位修得見込	履修中
	追加 募集	9/9～10/7 【必着】	8月度(8/21【必着】)までに提出し、単位 修得済または単位修得見込にすること	9月末までに単位修得済 または単位修得見込	

2.卒業要件について

2023年度卒業予定の方は卒業関連科目（「卒業制作」「日本画演習Ⅳ」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。また、卒業制作はTX科目「日本画演習Ⅳ」（4単位）とスクーリング科目「卒業制作」（6単位）を一括認定します。課題の一つ、あるいはスクーリングの一つでも合格できなければどちらの科目も単位修得できません。

【1】卒業要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	20単位以上	
	コース専門演習T科目	16単位	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	S科目（WS・S・GS）30単位以上
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	16単位	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	

・編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

(注1)「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

(注2)「日本画Ⅴ」は「日本画Ⅴ-1～6」から6単位選択必修。「日本画Ⅴ-1～3（人物）」または「日本画Ⅴ-4～6（風景）」のいずれか選択を推奨。

6. カリキュラムマップ

カリキュラムの内容と関連性

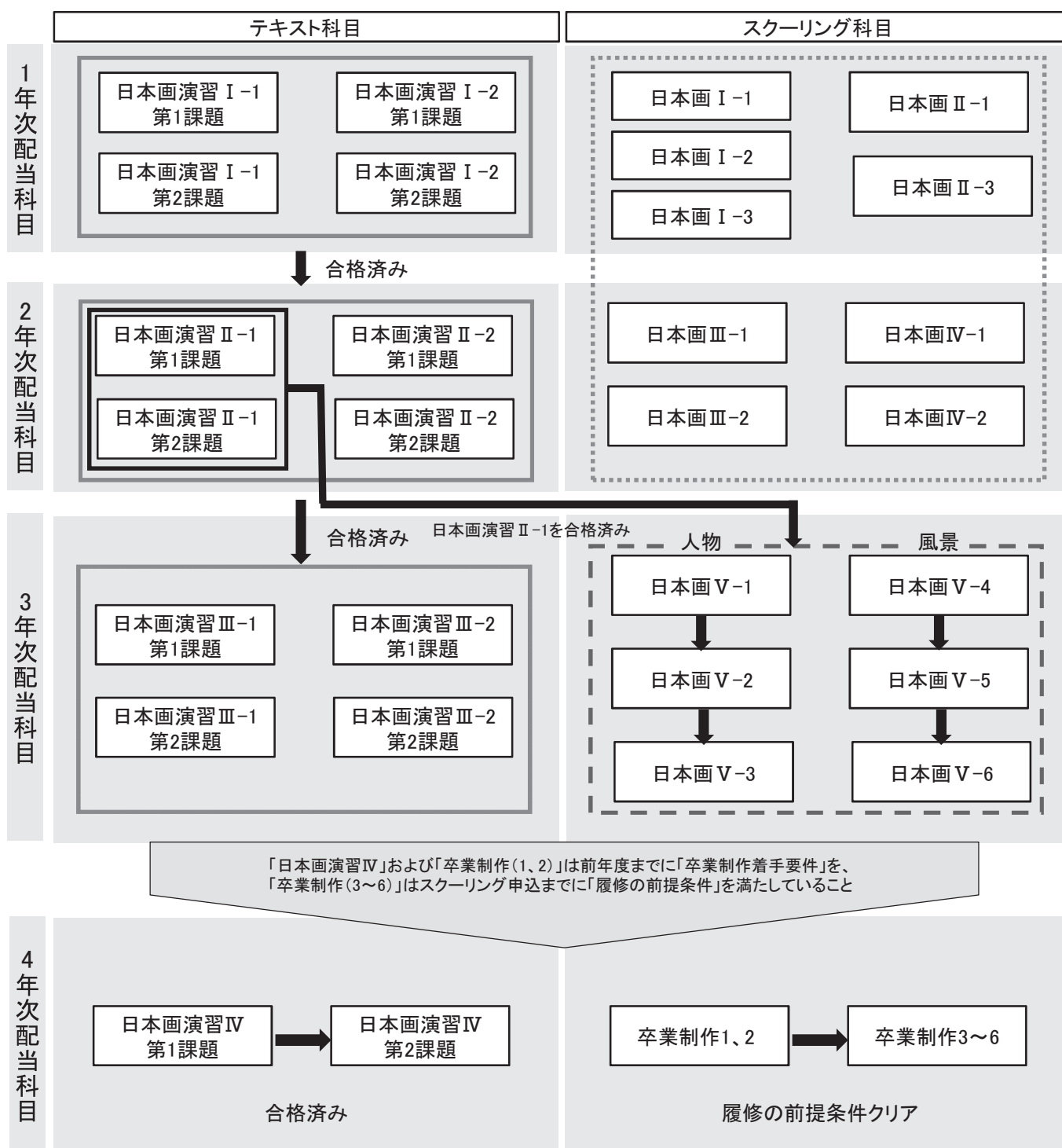
日本画コースのカリキュラムは以下のような体系で構成されています。

TW テキスト作品科目 **TX** テキスト特別科目 **S** スクーリング科目 **必** 必修科目 **選** 選択必修科目

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
観察力、それを形にする 描写力、それを発展させる 表現力を身につける	TW 日本画演習Ⅰ-1 (第1課題) 鉛筆による細密描写 (第2課題) 色鉛筆による細密描写1 必 TW 日本画演習Ⅰ-2 (第1課題) 色鉛筆による細密描写2 必 S 日本画Ⅰ-1 鉛筆写生 必 S 日本画Ⅰ-2 色鉛筆写生 必						
日本画の材料の知識や 扱い方を修得し、それを 自己の制作に活かす	TW 日本画演習Ⅰ-2 (第2課題) 色鉛筆写生と 水干・岩絵の具による制作 必 S 日本画Ⅰ-3 制作の基本 必 S 日本画Ⅱ-1 水干・岩絵具併用による制作 必	S 日本画Ⅲ-2 植物制作 必 S 日本画Ⅳ-2 剥製制作 必					
日本画古来の作品に学び、 模写を通して材料や技法に 関する知識を修得する	S 日本画Ⅱ-3 模写制作 必				S 卒業制作 ※模写制作選択者 必		
植物・静物などの写生・ 制作を通して対象から 美をつかみ取り、構成力・ 表現力を養う		TW 日本画演習Ⅱ-2 (第1課題) 樹木の写生 (第2課題) 花が実のある植物写生 必 S 日本画Ⅲ-1 植物写生 必 S 日本画Ⅳ-1 剥製写生 必	TW 日本画演習Ⅲ-2 (第1課題) 風景制作のための写生 (第2課題) 風景制作 必				
人物を観察して綿密な写生 を行い、そこから自己の テーマを持った制作へと 発展させる			TW 日本画演習Ⅲ-1 (第1課題) 自画像素描および写生 (第2課題) 上半身自画像制作 必 S 日本画Ⅴ-1 人物写生 選 S 日本画Ⅴ-2 人物制作1 選 S 日本画Ⅴ-3 人物制作2 選				
風景を現場で写生し、対象 との対話を基に大作による 自己の絵画表現を考える		TW 日本画演習Ⅱ-1 (第1課題) 静物制作のための写生 (第2課題) 水干・岩絵具による静物制作 必	S 日本画Ⅴ-4 風景写生 選 S 日本画Ⅴ-5 風景制作1 選 S 日本画Ⅴ-6 風景制作2 選				
構想力・表現力を駆使し、 総合的な力を結集させて 自己の思想や思いの こもった大作に臨む					TX 日本画演習Ⅳ (第1課題) 40号自由制作の小 下絵と作品に関するレポート。 (第2課題) 卒業制作に関する レポートおよび入学時からの 作品をまとめたポートフォリオ 必 S 卒業制作 ※自由制作選択者 必		

7. 履修条件図

コース専門演習テキスト科目、コース専門演習スクーリング科目について、配当年次および履修条件を記載しています。履修条件の詳細は、それぞれシラバスで確認してください。



: どちらの科目から履修してもよく、2つの科目に同時に取り組むことができる。また、4課題同時提出も可。

: どちらの科目から履修してもよい。ただし、2年次配当科目は1年次配当科目を合格後(見込みも含む)に履修することが望ましい。

※上記いずれも、科目によっては履修順序に注意事項あり(詳しくはシラバスの科目ページを参照)。

: 選択して履修する科目群を示す。「日本画 V-1~3(人物)」または「日本画 V-4~6(風景)」のいずれか選択を推奨。

8. スクーリング日程一覧

スクーリング申込期間は、airU学習ガイド>3.学習方法>スクーリング申込スケジュールをご確認ください

配当 年次	科目名	スクーリング コード	スクーリング名称	単位 (注1)	会場	開講日程 (注2)	申込期
1 年次 (6単位)	日本画Ⅰ-1	6100101001	日本画Ⅰ-1(鉛筆写生)K1	1	京都	5/13(土)~5/14(日)	春期
		6100101002	日本画Ⅰ-1(鉛筆写生)T1	1	東京■	5/20(土)~5/21(日)	春期
		6100101003	日本画Ⅰ-1(鉛筆写生)E1	1	遠隔	6/3(土)~6/4(日)	春期
	日本画Ⅰ-2	6100201001	日本画Ⅰ-2(色鉛筆写生)K1	1	京都	5/20(土)~5/21(日)	春期
		6100201002	日本画Ⅰ-2(色鉛筆写生)T1	1	東京■	5/27(土)~5/28(日)	春期
		6100201003	日本画Ⅰ-2(色鉛筆写生)E1	1	遠隔	6/10(土)~6/11(日)	春期
	日本画Ⅰ-3	6101701001	日本画Ⅰ-3(制作の基本)K1	1	京都	5/27(土)~5/28(日)	春期
		6101701002	日本画Ⅰ-3(制作の基本)T1	1	東京■	6/3(土)~6/4(日)	春期
		6101701003	日本画Ⅰ-3(制作の基本)E1	1	遠隔	6/17(土)~6/18(日)	春期
	日本画Ⅱ-1	6100301001	日本画Ⅱ-1(水干・岩絵具併用による制作)K1	2	京都	6/24(土)~6/25(日)および 7/8(土)~7/9(日)	春期
		6100301002	日本画Ⅱ-1(水干・岩絵具併用による制作)T1	2	東京■	7/1(土)~7/2(日)および 7/15(土)~7/16(日)	夏期
		6100301003	日本画Ⅱ-1(水干・岩絵具併用による制作)E1	2	遠隔	7/22(土)~7/23(日)および 7/29(土)~7/30(日)	夏期
	日本画Ⅱ-3	6101801001	日本画Ⅱ-3(模写制作)K1	1	京都	8/5(土)~8/6(日)	夏期
		6101801002	日本画Ⅱ-3(模写制作)E1	1	遠隔	8/26(土)~8/27(日)	夏期
		6101801003	日本画Ⅱ-3(模写制作)T1	1	東京■	9/2(土)~9/3(日)	夏期
2 年次 (6単位)	日本画Ⅲ-1	6100501001	日本画Ⅲ-1(植物写生)T1	1	東京■	9/23(土)~9/24(日)	夏期
		6100501002	日本画Ⅲ-1(植物写生)K1	1	京都	9/30(土)~10/1(日)	夏期
		6100501003	日本画Ⅲ-1(植物写生)E1	1	遠隔		
	日本画Ⅲ-2	6100601001	日本画Ⅲ-2(植物制作)K1	2	京都	10/7(土)~10/8(日)および 10/21(土)~10/22(日)	秋期
		6100601002	日本画Ⅲ-2(植物制作)E1	2	遠隔		
		6100601003	日本画Ⅲ-2(植物制作)T1	2	東京■	10/14(土)~10/15(日)および 10/28(土)~10/29(日)	秋期
	日本画Ⅳ-1	6100701001	日本画Ⅳ-1(剥製写生)T1	1	東京■	11/11(土)~11/12(日)	秋期
		6100701002	日本画Ⅳ-1(剥製写生)K1	1	京都	12/23(土)~12/24(日)	秋期
		6100701003	日本画Ⅳ-1(剥製写生)E1	1	遠隔		
	日本画Ⅳ-2	6100801001	日本画Ⅳ-2(剥製制作)T1	2	東京■	12/2(土)~12/3(日)および 12/16(土)~12/17(日)	秋期
		6100801002	日本画Ⅳ-2(剥製制作)K1	2	京都	2024/2/17(土)~2/18(日)および 2/24(土)~2/25(日)	冬期
		6100801003	日本画Ⅳ-2(剥製制作)E1	2	遠隔		
3 年次 (6単位) (注3)	日本画Ⅴ-1	6100901001	日本画Ⅴ-1(人物写生)T1	2	東京■	4/22(土)~4/23(日)および 5/6(土)~5/7(日)	春期
		6100901002	日本画Ⅴ-1(人物写生)K1	2	京都	9/23(土)~9/24(日)および 9/30(土)~10/1(日)	夏期
	日本画Ⅴ-2	6101001001	日本画Ⅴ-2(人物制作1)T1	2	東京■	6/10(土)~6/11(日)および 6/24(土)~6/25(日)	春期
		6101001002	日本画Ⅴ-2(人物制作1)K1	2	京都	10/21(土)~10/22(日)および 11/4(土)~11/5(日)	秋期
		6101001003	日本画Ⅴ-2(人物制作1)E1	2	遠隔		
	日本画Ⅴ-3	6101101001	日本画Ⅴ-3(人物制作2)T1	2	東京■	7/8(土)~7/9(日)および 7/29(土)~7/30(日)	夏期
		6101101002	日本画Ⅴ-3(人物制作2)K1	2	京都	12/2(土)~12/3(日)および 2024/1/13(土)~1/14(日)	秋期
		6101101003	日本画Ⅴ-3(人物制作2)E1	2	遠隔		

配当 年次	科目名	スクーリング コード	スクーリング名称	単位 (注1)	会場	開講日程（注2）	申込期
3 年次 （6単位） （注3）	日本画Ⅴ－4	6101201001	日本画Ⅴ－4（風景写生）K1	2	京都	5/13（土）～5/14（日）および 5/20（土）～5/21（日）	春期
	日本画Ⅴ－5	6101301001	日本画Ⅴ－5（風景制作1）K1	2	京都	7/1（土）～7/2（日） および7/22（土）～7/23（日）	夏期
		6101301002	日本画Ⅴ－5（風景制作1）E1	2	遠隔		
	日本画Ⅴ－6	6101401001	日本画Ⅴ－6（風景制作2）K1	2	京都	8/5（土）～8/6（日） および9/2（土）～9/3（日）	夏期
		6101401002	日本画Ⅴ－6（風景制作2）E1	2	遠隔		
4 年次 （6単位）	卒業制作 （6単位 一括認定）	6109101001	卒業制作1E1	1	遠隔	4/29（土）～4/30（日）	春期 （注4）
		6109101002	卒業制作1E2	1	遠隔	5/3（水祝）～5/4（木祝）	
		6109102001	卒業制作2K1	1	京都	8/19（土）～8/20（日）	
		6109102002	卒業制作2E1	1	遠隔		
		6109102003	卒業制作2T1	1	東京■	8/26（土）～8/27（日）	
		6109102004	卒業制作2E2	1	遠隔		
		6109103001	卒業制作3K1	1	京都	10/14（土）～10/15（日）	秋期 （注5）
		6109103002	卒業制作3E1	1	遠隔		
		6109103003	卒業制作3T1	1	東京■	10/21（土）～10/22（日）	
		6109103004	卒業制作3E2	1	遠隔		
		6109104001	卒業制作4K1	1	京都	11/11（土）～11/12（日）	
		6109104002	卒業制作4E1	1	遠隔		
		6109104003	卒業制作4T1	1	東京■	11/18（土）～11/19（日）	
		6109104004	卒業制作4E2	1	遠隔		
		6109105001	卒業制作5K1	1	京都	12/16（土）～12/17（日）	
		6109105002	卒業制作5E1	1	遠隔		
		6109105003	卒業制作5T1	1	東京■	12/23（土）～12/24（日）	
		6109105004	卒業制作5E2	1	遠隔		
		6109106001	卒業制作6K1	1	京都	2024/1/20（土）～1/21（日）	
		6109106002	卒業制作6E1	1	遠隔		
		6109106003	卒業制作6T1	1	東京■	2024/2/3（土）～2/4（日）	

(注1) 2単位科目で2日間×2回に分割されている科目は両方受講しなければ単位認定はされません。

(注2) 同一の授業を、対面（東京または京都）と、遠隔で同時開催している科目があります。対面・遠隔のどちらかを選んで申込してください。

申し込まれた開講形態と異なる方で受講することはできません。例:対面(京都)で申し込んで、当日遠隔(Zoom)で受講することはできません。

(注3) 3年次科目は「日本画V-1～6」から6単位選択必修。「V-1～3(人物)」または「V-4～6(風景)」のいずれか3科目選択を推奨。

(注4) 「卒業制作1、2」は春期(4～6月)開講分の申込期間に2つをまとめて申し込み。2023年度春期のスクーリング先行申込開始は3月27日(月)13:00からです。

(注5) 「卒業制作3～6」は秋期(10～12月)開講分の申込期間に4つをまとめて申し込み。

2023年度スクーリング日程表 各申込スケジュールは「airU学習ガイド>スクーリング申込スケジュール」をご確認ください。

申込期	日程	1年次配当科目			2年次配当科目		
		京都	遠隔	東京	京都(注1)	遠隔(注1)	東京
春期 (4・5・6月) 3/27～3/30	4/22(土)～4/23(日)および 5/6(土)～5/7(日)						
	4/29(土)～4/30(日)						
	5/3(水・祝)～5/4(木・祝)						
	5/13(土)～5/14(日)	日本画Ⅰ－1 (鉛筆写生)K1					
	5/13(土)～5/14(日)および 5/20(土)～5/21(日)						
	5/20(土)～5/21(日)	日本画Ⅰ－2 (色鉛筆写生)K1		日本画Ⅰ－1 (鉛筆写生)T1			
	5/27(土)～5/28(日)	日本画Ⅰ－3 (制作の基本)K1		日本画Ⅰ－2 (色鉛筆写生)T1			
	6/3(土)～6/4(日)		日本画Ⅰ－1 (鉛筆写生)E1	日本画Ⅰ－3 (制作の基本)T1			
	6/10(土)～6/11(日)		日本画Ⅰ－2 (色鉛筆写生)E1				
	6/10(土)～6/11(日)および 6/24(土)～6/25(日)						
	6/17(土)～6/18(日)		日本画Ⅰ－3 (制作の基本)E1				
	6/24(土)～6/25(日)および 7/8(土)～7/9(日)	日本画Ⅱ－1(水干・岩絵 具併用による制作)K1					
夏期 (7・8・9月) 5/17～5/25	7/1(土)～7/2(日)および 7/15(土)～7/16(日)			日本画Ⅱ－1(水干・岩絵 具併用による制作)T1			
	7/1(土)～7/2(日)および 7/22(土)～7/23(日)						
	7/8(土)～7/9(日)および 7/29(土)～7/30(日)						
	7/22(土)～7/23(日)および 7/29(土)～7/30(日)		日本画Ⅱ－1(水干・岩絵 具併用による制作)E1				
	8/5(土)～8/6(日)	日本画Ⅱ－3 (模写制作)K1					
	8/5(土)～8/6(日)および 9/2(土)～9/3(日)						
	8/19(土)～8/20(日)						
	8/26(土)～8/27(日)		日本画Ⅱ－3 (模写制作)E1				
	9/2(土)～9/3(日)			日本画Ⅱ－3 (模写制作)T1			
	9/23(土)～9/24(日)						日本画Ⅲ－1 (植物写生)T1
	9/23(土)～9/24(日)および 9/30(土)～10/1(日)						
	9/30(土)～10/1(日)				日本画Ⅲ－1 (植物写生)K1	日本画Ⅲ－1 (植物写生)E1	
秋期 (10・11・12月) 8/17～8/25	10/7(土)～10/8(日)および 10/21(土)～10/22(日)				日本画Ⅲ－2 (植物制作)K1	日本画Ⅲ－2 (植物制作)E1	
	10/14(土)～10/15(日)						
	10/14(土)～10/15(日)および 10/28(土)～10/29(日)						日本画Ⅲ－2 (植物制作)T1
	10/21(土)～10/22(日)						
	10/21(土)～10/22(日)および 11/4(土)～11/5(日)						
	11/11(土)～11/12(日)						日本画Ⅳ－1 (剥製写生)T1
	11/18(土)～11/19(日)						
	12/2(土)～12/3(日)および 12/16(土)～12/17(日)						日本画Ⅳ－2 (剥製制作)T1
	12/2(土)～12/3(日)および 2024/1/13(土)～1/14(日)						
冬期 (1・2・3月) 11/17～11/25	12/16(土)～12/17(日)						
	12/23(土)～12/24(日)				日本画Ⅳ－1 (剥製写生)K1	日本画Ⅳ－1 (剥製写生)E1	
	2024/1/20(土)～1/21(日)						
	2024/2/3(土)～2/4(日)						
	2024/2/17(土)～2/18(日)および 2024/2/24(土)～2/25(日)				日本画Ⅳ－2 (剥製制作)K1	日本画Ⅳ－2 (剥製制作)E1	

(注1)2年次配当以上の科目においてE1(遠隔)は京都(対面)とハイフレックス、E2(遠隔)は東京(対面)とハイフレックスです。
(注2)「卒業制作1、2」は春期(4～6月)開講分の申込期間にて2つを同時に申込み。
(注3)「卒業制作3～6」は秋期(10～12月)開講分の申込期間にて4つを同時に申込み。
(注4)「卒業制作6」は卒業制作展に向けたの準備の為、原則、京都・東京での対面授業で受講してください。

3年次配当科目			4年次配当科目(注2・3)			日程
京都(注1)	遠隔(注1)	東京	京都(注1)	遠隔(注1)	東京	
		日本画Ⅴ-1 (人物写生)T1				4/22(土)～4/23(日)および 5/6(土)～5/7(日)
				卒業制作1E1		4/29(土)～4/30(日)
				卒業制作1E2		5/3(水・祝)～5/4(木・祝)
						5/13(土)～5/14(日)
日本画Ⅴ-4 (風景写生)K1						5/13(土)～5/14(日)および 5/20(土)～5/21(日)
						5/20(土)～5/21(日)
						5/27(土)～5/28(日)
						6/3(土)～6/4(日)
						6/10(土)～6/11(日)
		日本画Ⅴ-2 (人物制作1)T1				6/10(土)～6/11(日)および 6/24(土)～6/25(日)
						6/17(土)～6/18(日)
						6/24(土)～6/25(日)および 7/8(土)～7/9(日)
						7/1(土)～7/2(日)および 7/15(土)～7/16(日)
日本画Ⅴ-5 (風景制作1)K1	日本画Ⅴ-5 (風景制作1)E1					7/1(土)～7/2(日)および 7/22(土)～7/23(日)
		日本画Ⅴ-3 (人物制作2)T1				7/8(土)～7/9(日)および 7/29(土)～7/30(日)
						7/22(土)～7/23(日)および 7/29(土)～7/30(日)
						8/5(土)～8/6(日)
日本画Ⅴ-6 (風景制作2)K1	日本画Ⅴ-6 (風景制作2)E1					8/5(土)～8/6(日)および 9/2(土)～9/3(日)
			卒業制作2K1	卒業制作2E1		8/19(土)～8/20(日)
				卒業制作2E2	卒業制作2T1	8/26(土)～8/27(日)
						9/2(土)～9/3(日)
						9/23(土)～9/24(日)
日本画Ⅴ-1 (人物写生)K1						9/23(土)～9/24(日)および 9/30(土)～10/1(日)
						9/30(土)～10/1(日)
						10/7(土)～10/8(日)および 10/21(土)～10/22(日)
			卒業制作3K1	卒業制作3E1		10/14(土)～10/15(日)
						10/14(土)～10/15(日)および 10/28(土)～10/29(日)
				卒業制作3E2	卒業制作3T1	10/21(土)～10/22(日)
日本画Ⅴ-2 (人物制作1)K1	日本画Ⅴ-2 (人物制作1)E1					10/21(土)～10/22(日)および 11/4(土)～11/5(日)
			卒業制作4K1	卒業制作4E1		11/11(土)～11/12(日)
				卒業制作4E2	卒業制作4T1	11/18(土)～11/19(日)
						12/2(土)～12/3(日)および 12/16(土)～12/17(日)
日本画Ⅴ-3 (人物制作2)K1	日本画Ⅴ-3 (人物制作2)E1					12/2(土)～12/3(日)および 2024/1/13(土)～1/14(日)
			卒業制作5K1	卒業制作5E1		12/16(土)～12/17(日)
				卒業制作5E2	卒業制作5T1	12/23(土)～12/24(日)
			卒業制作6K1(注4)	卒業制作6E1(注4)		2024/1/20(土)～1/21(日)
					卒業制作6T1(注4)	2024/2/3(土)～2/4(日)
						2024/2/17(土)～2/18(日)および 2024/2/24(土)～2/25(日)

9. 履修モデル

1年次入学生履修モデル [卒業要件124単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

4年で学習する場合

1年目																	
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修／選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		ことばと表現	1	TR					レポート		試験						
		色彩と形	2	TR								レポート		試験			
		デッサン	2	TW									第1課題				
		はじめての共通科目	1	S		初回提出	中間講評	最終提出									
		身体と表現	2	S					初回提出	中間講評	最終提出						
		数と世界	2	S											初回提出	中間講評	最終提出
		入門デッサン3	1	S										2日間			
専門教育科目 (注3)	学部共通専門教育科目	コラージュ・デッサン	2	TW						第1課題							
		立体造形演習1	2	TW								第1課題					
		芸術史講義（日本）1	2	WS		動画視聴	レポート	講評視聴									
		芸術史講義（日本）2	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴							
		芸術史講義（ヨーロッパ）1	2	WS							動画視聴	レポート	講評視聴				
		芸術史講義（ヨーロッパ）2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴
	コース専門演習T科目	日本画演習Ⅰ－1	2	TW	●		第1課題		第2課題								
		日本画演習Ⅰ－2	2	TW	●					第1課題			第2課題				
		日本画Ⅰ－1	1	S	●		2日間										
		日本画Ⅰ－2	1	S	●		2日間										
		日本画Ⅰ－3	1	S	●			2日間									
		日本画Ⅱ－1	2	S	●			2日間	2日間								
		日本画Ⅱ－3	1	S	●					2日間							
1年目の修得単位数			33														

2年目																	
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修／選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		宗教学	2	TR		レポート		試験									
		京都を学ぶ	2	TR								レポート		試験			
		日本の憲法	2	TR					レポート		試験						
		文化研究1	2	TR								レポート		試験			
		映画研究への階段	1	S							2日間						
		メディア論への階段	1	S			2日間										
		基礎デッサン5	1	S											2日間		
専門教育科目 (注3)	学部共通専門教育科目	美学概論	2	TR		レポート		試験									
		写真論1	2	TR											レポート		試験
		芸術史講義（日本）3	2	WS		動画視聴	レポート	講評視聴									
		芸術史講義（日本）4	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴						
		芸術史講義（アジア）3	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴			
		芸術史講義（近現代）1	2	WS		動画視聴	レポート	講評視聴									
		芸術史講義（近現代）2	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴						
	コース専門演習T科目	日本画演習Ⅱ－1	2	TW	●	第1課題			第2課題								
		日本画演習Ⅱ－2	2	TW	●					第1課題			第2課題				
		日本画Ⅲ－1	1	S	●						2日間						
		日本画Ⅲ－2	2	S	●							2日間×2					
		日本画Ⅳ－1	1	S	●									2日間			
		日本画Ⅳ－2	2	S	●											2日間×2	
2年目の修得単位数			35														

3年目																
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修／選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	日本文化論	2	TR								レポート		試験			
	古典日本語	2	TR								レポート		試験			
	哲学への案内	2	TR				レポート		試験							
	日本史への階段	1	S			2日間										
	基礎デッサン4	1	S								2日間					
	人間科学への階段	1	S										2日間			
	哲学への階段	1	S							2日間						
専門教育科目 (注3)	学部共通専門教育科目	芸術理論1	2	TR										レポート		試験
		色彩表現基礎	2	TW		第1課題										
		形態表現基礎	2	TW								第1課題				
		芸術史講義（アジア）1	2	WS							動画視聴	レポート	講評視聴			
		芸術史講義（アジア）2	2	WS										動画視聴	レポート	講評視聴
		芸術史講義（アジア）4	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴						
		芸術史講義（ヨーロッパ）3	2	WS		動画視聴	レポート	講評視聴								
	コース専門演習T科目	日本画演習Ⅲ-1	2	TW	●			第1課題				第2課題				
		日本画演習Ⅲ-2	2	TW	●		第1課題			第2課題						
	コース専門演習S科目 (注4)	日本画Ⅴ-4	2	S	○		2日間×2									
		日本画Ⅴ-5	2	S	○				2日間×2							
		日本画Ⅴ-6	2	S	○					2日間	2日間					
	3年目の修得単位数		34													

4年目																	
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修／選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期（注5）		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		日本史	2	TR		レポート		試験							卒業制作着手者は卒業年度の冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。		
		列島考古学	2	TR				レポート		試験							
		政治学	2	TR							レポート		試験				
		伝統芸術基礎（煎茶）	1	S			2日間										
		考古学への階段	1	S		2日間											
専門教育科目 (注3)	学部共通専門教育科目	写真論2	2	TR		レポート		試験									
		芸術理論2	2	TR				レポート		試験							
		立体造形演習2	2	TW					第1課題								
	コース専門演習S科目 (注4)	コース専門演習T科目	日本画演習Ⅳ（注6）	4	TX	●					第1課題					第2課題	
		卒業制作	6	S	●	2日間				2日間		2日間	2日間	2日間	2日間		
4年目の修得単位数			24														

4年間の合計・内訳		126単位 (うちS45単位)	総合教育科目：40単位	学部共通専門教育科目：46単位	コース専門演習T科目：16単位 コース専門演習S科目：24単位
-----------	--	--------------------	-------------	-----------------	------------------------------------

- (注1) TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目
S：スクーリング科目 WS：ウェブスクーリング科目 GS：藝術学舎科目 本書p.8参照
- (注2) ●＝必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○＝選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白＝選択科目
- (注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
- (注4) 開講形態は対面と遠隔があります。コース専門演習S科目のスクーリングは京都会場または遠隔としています。東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。
- (注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目（「日本画演習Ⅳ」「卒業制作」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
- (注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当科目を参照のこと

3年次編入学生(異分野)履修モデル[卒業要件62単位以上・専門52単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

2年で学習する場合

1年目																	
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修／選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		はじめての共通科目	1	S		初回提出	中間講評	最終提出									
		デッサン	2	TW											第1課題		
		映画研究への階段	1	S										2日間			
		日本史への階段	1	S								2日間					
		哲学への階段	1	S											2日間		
		入門デッサン5	1	S										2日間			
専門教育科目	学部共通専門教育 科目 (注3)	写真論1	2	TR								レポート		試験			
		写真論2	2	TR											レポート		試験
		形態表現基礎	2	TW				第1課題									
		カラー・デッサン	2	TW							第1課題						
		芸術史講義（日本）1	2	WS		動画視聴	レポート	講評視聴									
	コース 専門演習 T科目	日本画演習Ⅰ－1	2	TW	●		第1課題		第2課題								
		日本画演習Ⅰ－2	2	TW	●				第1課題	第2課題							
		日本画演習Ⅱ－1	2	TW	●							第1課題			第2課題		
		日本画演習Ⅱ－2	2	TW	●								第1課題		第2課題		
	コース 専門演習 S科目	日本画Ⅰ－1	1	S	●		2日間										
		日本画Ⅰ－2	1	S	●		2日間										
		日本画Ⅰ－3	1	S	●			2日間									
		日本画Ⅱ－1	2	S	●				2日間×2								
		日本画Ⅱ－3	1	S	●						2日間						
		日本画Ⅲ－1	1	S	●						2日間						
		日本画Ⅲ－2	2	S	●							2日間×2					
		日本画Ⅳ－1	1	S	●								2日間				
	日本画Ⅳ－2	2	S	●									2日間×2				
	1年目の修得単位数			37													

2年目																			
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修／選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期（注5）				
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合教育科目 (注3)		文化研究1	2	TR		レポート		試験							卒業制作着手者は卒業 年度の冬期に卒業関連 科目以外の履修ができ ません。				
専門教育科目	学部共通専門 教育科目 (注3)	色彩表現基礎	2	TW								第1課題							
		芸術史講義（近現代）2	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴									
		芸術史講義（日本）2	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴									
	コース 専門演習 T科目	日本画演習Ⅲ－1	2	TW	●		第1課題		第2課題										
		日本画演習Ⅲ－2	2	TW	●	第1課題	第2課題												
		日本画演習Ⅳ（注6）	4	TX	●					第1課題				第2課題					
	コース 専門演習 S科目	日本画Ⅴ－1	2	S	○	2日間	2日間												
		日本画Ⅴ－2	2	S	○			2日間×2											
		日本画Ⅴ－3	2	S	○				2日間×2										
		卒業制作	6	S	●	2日間				2日間		2日間	2日間	2日間		2日間			
2年目の修得単位数			28																

2年間の合計・内訳	65 単位 (うち S32 単位)	総合教育科目		： 9単位		コース専門演習T科目： 16単位		コース専門演習S科目： 24単位	
		学部共通専門教育科目		： 16単位					

(注1) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目 S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目
(注2) ●=必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○=選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白=選択科目
(注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
(注4) 開講形態は対面と遠隔があります。コース専門演習S科目のスクーリングは東京会場または遠隔としています。京都会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。
(注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目(「日本画演習Ⅳ」「卒業制作」)以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。
秋期(10月~12月)までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
(注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当科目を参照のこと

10. 専門演習テキスト科目(TW・TX)

コース専門演習テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。

自宅でairUマイページにてシラバスを確認の上、参考資料やairUで提供されるWEB教材、参考作品などをもとに学習し作品を完成させます。完成した作品の実物を郵便・窓口・airU（一部科目）へ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば完了です。添削結果は科目ページの「添削結果確認」、もしくは「airUマイページ」>メンバー情報>成績」より確認できます。

履修順序と前提条件

テキスト科目では、着実にステップアップするために年次ごとに履修の前提条件を設けています。

1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順に履修してください。同じ年次の科目どうしでは履修順序はなく同時履修が可能です。

ただし以下のように4年次の課題で一部に制約がありますのでご注意ください。

<テキスト科目の履修の前提条件>

年 次	履修の前提条件	備 考
1年次 [2科目4課題]	なし	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
2年次 [2科目4課題]	1年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
3年次 [2科目4課題]	2年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
4年次 [1科目2課題]	卒業制作着手要件を満たしていること	第1課題合格後、第2課題提出

単年度履修

1科目に2つの課題が設定されている科目は、どちらか1課題が合格しただけでは単位履修できません。また、テキスト科目においては、同一年度内にすべての課題に合格しなければ合格した課題が無効になり、次年度以降あらためて取り組まなくてはなりません。必ず年度内に2課題とも合格し、単位履修するようにしてください。

提出の受付と返却の目安

・TW科目（1～3年次科目）の提出

4月、5月、7月、8月、10月、11月、1月、2月の11日～20日【必着】※消印不可

・窓口提出は当日窓口受付時間（9：00～17：00）まで

・返却は提出年度の翌月中旬（10日～18日前後）をめどに行います。

各提出期間の締切をわずかでも過ぎてしまった場合は、次の提出期間での受け付けとなりますので注意してください。

■日本画演習Ⅳ（TX）の提出について

「日本画演習Ⅳ（TX）」の提出期間は個別に設定されています。airUマイページからシラバスを確認してください。この科目には第1課題と第2課題があり、第1課題はairU提出、第2課題は郵送・窓口提出となっています。

airUから提出時の注意事項

まずairU学習ガイドでairUを利用した課題提出方法とその注意点を把握しておいてください。

・パソコンやインターネット等のトラブルも含め、課題提出時のトラブルにつきましても、原則、例外的な受付措置はできません。自らトラブルの発生を防ぐ策を講じてください。万が一、締切期限の間にトラブルが生じた場合は質問専用メールアドレス（question@air-u.kyoto-art.ac.jp）宛に締切当日の13：00までに具体的なトラブル内容を報告してください。トラブル内容を正確に把握するため、電話での連絡は受け付けていません。必ずメールにて連絡してください。

11. 専門演習スクーリング科目(S)

コース専門演習スクーリング科目とは、事前学習と2日間（2単位の科目は2日間×2回）の対面授業または遠隔授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれに作品を完成させます。

履修の推奨順序と前提条件

1年次配当科目 2年次配当科目

1年次配当の「日本画Ⅰ-1～Ⅱ-3」と2年次配当の「日本画Ⅲ-1～Ⅳ-2」の9科目は配当年次以外に履修の前提条件はなく、年次が到達していれば自由に受講が可能です。ですが日本画コースの授業内容は基礎から応用へと順に進んでいくステップアップ方式になっている為、可能な限り「日本画Ⅰ-1～Ⅰ-3」を先に受講することが望ましく、カリキュラムは1年次科目→2年次科目→3年次科目の順で受講していただくことを想定しています。

3年次配当科目

- ・履修の前提条件は下表＜スクーリング科目の履修の前提条件＞を参照。
- ・「V-1～6」の中から6単位選択必修ですが、可能な限り「V-1～3（人物）」または「V-4～6（風景）」のいずれかを選択し、写生から制作の順に受講することが望ましいです。7単位以上の受講はできませんので計画的に3科目を選択し、受講するようにしてください。

4年次配当科目（卒業制作）

- ・「卒業制作1、2」は前年度までに「卒業制作着手要件」を、「卒業制作3～6」はスクーリング申込までに履修の前提条件を満たしておく必要があります（▶本書pp.10～11参照）。
- ・卒業制作の単位認定は、「卒業制作1～6」合わせて6単位一括認定となります（最終的には「日本画演習Ⅳ」（4単位）と合わせて10単位一括認定となります）。
- ・卒業制作で模写を選択する場合は、京都会場を申し込みしてください。原則、対面授業で受講してください。
- ・「卒業制作6」はWeb卒業制作展用の写真を撮る等、卒業制作展の準備を行いますので原則対面授業で受講してください。
- ・「卒業制作6」で東京会場を選択した場合、卒業制作展のために京都へ作品を送付する必要があり、別途送付費用がかかります。

＜スクーリング科目の履修の前提条件＞

年次	履修の前提条件	
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	「日本画Ⅴ-1～6」※	スクーリング申込までに「日本画演習Ⅱ-1」合格済
4年次	卒業制作1、2	昨年度末までに卒業制作着手要件を満たしていること
	卒業制作3～6	スクーリング申込までにp.10の「卒業制作3～6」の履修の前提条件を満たしていること

※「日本画Ⅴ-1～3（人物）」、「日本画Ⅴ-4～6（風景）」はいずれか選択を推奨。

①申し込みについて

●申込方法（先行募集）とキャンセル手続き

スクーリング科目は、3ヶ月に1度、開講の前の期に先行募集を行います。airUマイページから申し込んでください。受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10～100%のキャンセル料が発生しますので注意してください。（▶「airU学習ガイド＞スクーリングキャンセル・欠席の手続」参照）

●追加募集申込

定員に空きの無い場合は追加募集されません。必修科目など、受講予定の科目は必ず先行募集で申し込んでください。ただし、キャンセル等が出て定員に空きがでた場合に募集が再開されることもあります。追加募集の有無は、airUマイページで確認できます。

②スクーリングへ向けての準備

●スクーリング授業は自宅学習として取り組む事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。事前課題はシラバスの「課題」欄に記載されていますので、各自スクーリング授業前に必ず確認し、事前課題に取り組み、スクーリング初日、または指定されている日に提出してください。airUマイページの各科目ページに、動画教材や参考資料がある科目もあります。（▶本書pp.3～4参照）尚、スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、原則として単位認定の対象となりません。

●持参物・使用教材

スクーリング科目を受講する際、道具や教材を持参いただきます。各スクーリング科目のシラバス「[受講にあたって] ●持参物／準備物」に記載していますので受講日まで確認し、用意してください。

道具や教材は、以下で購入できます。ADストアおよび鴻業堂の申込書等詳細は、airUマイページ>教材BOXをご確認ください。

- ・ADストア（京都瓜生山キャンパス内）
- ・鴻業堂（京都市内）

③遠隔授業について

遠隔授業では、大学等で対面による授業を受講するのではなく、Zoom（オンライン会議ソフトウェア）等を利用して、自宅にてリアルタイムで授業を受講します。遠隔授業も対面授業と同じく申し込みが必要です。

開講当日の受講の仕方は、以下をご確認ください。

airU学習ガイド>オンライン会議ソフトウェア「Zoomについて」

受講の際には、使用するパソコンのカメラ及びマイク、スピーカー、ネット環境を必ず確認してください。安定した通信環境が望まれますので、有線LANでの接続を強く推奨します。また、必ずカメラオンにして受講してください。

その他Zoomのインストール等については、airU学習ガイド>「オンライン会議ソフトウェア「Zoom」について」を確認してください。

④対面授業と遠隔授業の同時開講について

遠隔授業には、対面（京都）と遠隔で同日開催される科目があります。

例：

スクーリングコード：6100601002 「日本画Ⅲ-1（植物写生）」K1

スクーリングコード：6100501003 「日本画Ⅲ-1（植物写生）」E1

ともに 9/30（土）～10/1（日）開講

対面授業（K日程）を申し込んだ学生は2日とも瓜生山キャンパスで受講します。遠隔授業（Zoom）を申し込んだ学生は各自自宅などから両日Zoomで、同じ講座に参加します。

10桁のスクーリングコードが異なりますので、どちらかを選んで申し込んでください。

例えば、対面授業（K日程）で申し込んで、当日に遠隔授業（E日程）での受講はできません。受講許可後の受講形態の変更は申し込み期間内に学生自身でキャンセルし再度申込の必要があります。この際、規定通りのキャンセル料がかかります。

⑤スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では「事前課題の取り組み」「2日間（全10講時）の出席」「作品・成果物の完成と発表」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定対象から外れますので十分に注意してください。遠隔の場合も同じです。当日、トラブルの発生や、やむを得ず欠席の場合は速やかに連絡をしてください。（▶「airU学習ガイド>受講にあたって」参照）

12. テキスト購入

2022年度より日本画コースで使用しているテキストが、新テキストに変更されています。新入生は、必ず購入してください。

2021年度以前入学生については、旧テキストでも課題の取り組みが可能な為、新テキストの購入は必須ではありませんが、新テキストを購入いただくことを推奨しています。

2021年度までの旧テキスト（計2冊）

「基礎から学ぶ日本画」1998年

「日本画の制作を学ぶ」1998年



2022年度からの新テキスト（計4冊）

松生 歩編『日本画 基礎から学ぶ日本画(はじめて学ぶ芸術の教科書)』

松生 歩編『日本画 日本画の制作を学ぶ(はじめて学ぶ芸術の教科書)』

松生 歩著『日本画1 白い紙の上に 日本画制作への向かい方とヒント(はじめて学ぶ芸術の教科書)』

松生 歩著『日本画2 描くことの源泉へ 発想の源を遡る(はじめて学ぶ芸術の教科書)』

発行：京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎

新テキスト4冊は大学より郵送されませんので、ご自身で購入してください。

電子版と印刷製本版（オンデマンドブック）があります。Amazon等インターネットで購入可能です。

新テキストについて

「日本画 基礎から学ぶ日本画」では色鉛筆写生をより詳しく記載した部分や、旧テキスト作成時と現在とで違ってきている用材事情を反映した記述が加わっています。

「日本画 日本画の制作を学ぶ」では、新たに現在とこれからの日本画について若い世代の作家の言葉を収録しています。

「日本画1 白い紙の上に 日本画制作への向かい方とヒント」と「日本画2 描くことの源泉へ 発想の源を遡る」は、技法書ではなく読み物として、日本画を学ぶ皆さんに知っていただきたいことなどを網羅しています。「日本画1」では日本画の中の各ジャンルについて、皆さんが制作に取り組む際に準備してほしいことや考え方やコツなどを記述しています。1年次から卒業後まで折に触れ手に取って確認していただければと思います。また「日本画2」は日本画のみではなくあらゆる創作に共通した原点を自分の中に問う形の本で、主に卒業制作を考える際や大学院、また卒業後に自身の制作について考えを深める際のきっかけとしていただきたいテキストです。

パネル・紙のサイズについて

主なパネルの号数規格、紙の規格サイズは、以下の通りです。

●パネルの号数規格

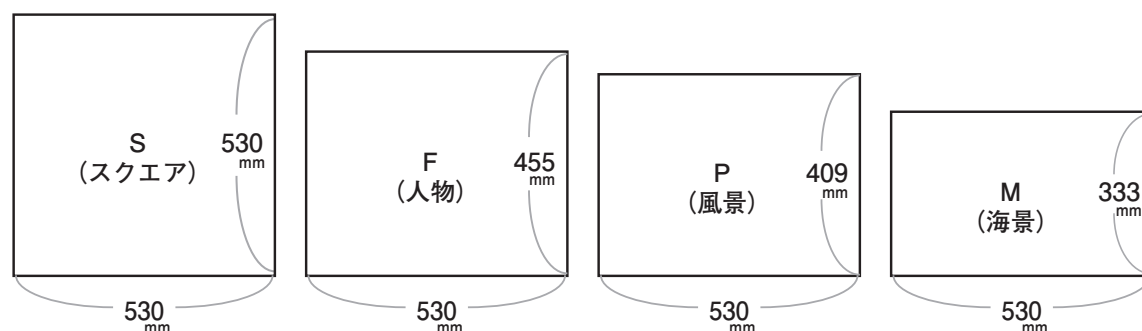
	日本サイズ (mm)			
号数	長辺サイズ	F (人物)	P (風景)	M (海景)
0	180	140	120	100
1	220	160	140	120
SM	227	158		
2	240	190	160	140
3	273	220	190	160
4	333	242	220	190
5	350	270	240	220
6	410	318	273	242
8	455	380	333	273
10	530	455	410	333
12	606	500	455	410
15	652	530	500	455
20	727	606	530	500

	日本サイズ (mm)			
号数	長辺サイズ	F (人物)	P (風景)	M (海景)
25	803	652	606	530
30	910	727	652	606
40	1000	803	727	652
50	1167	910	803	727
60	1303	970	894	803
80	1455	1120	970	894
100	1620	1303	1120	970
120	1940	1303	1120	970
130	1940	1620		
150	2273	1818	1620	1455
200	2590	1940	1818	1620
300	2910	2182	1970	1818
500	3333	2485	2182	1970

・F・P・M型とも、各号の長辺サイズは共通。F・P・Mの数値は、各型の短辺サイズ。

・S（スクエア）型は、表記の長辺サイズの正方形パネルです。

●例：10号パネルの種類別サイズ



●画用紙、ケント紙

・四ツ切りは382×542mm、ハツ切りは271×382mmが基準サイズとなります。

・B2サイズ 515×728mm

・B全サイズ 728×1030mm

・木炭紙大 500×650mm

●雲肌麻紙など日本画制作用紙のサイズ

三六（さぶろく）判 970×1880mm

※この他にも種類があります。

